

こころつなぐ

2021年 冬

新開 省二さんコラム

楽しく食べて健康長寿 腸内環境を整えて免疫力アップ!

もみの樹・杉並 集クリニック
かかりつけ医から 皆さんへ

6館合同旅行プロジェクト

～錦秋の京都・紅葉鑑賞オンラインツアー～

6館合同 全社で行っている新たな取り組み

もみの樹・練馬 もみの樹・横浜鶴見

外部講師による接遇マナー指導

もみの樹・渋谷本町

「リハビリスタッフ座談会」

もみの樹・渋谷本町

ほんまちカフェ

Hon街cafeオープン!

感動プロジェクト 認知症ケア

ネオ・サミット湯河原

統一したチームケアを 通して笑顔を取り戻す。

感動プロジェクト オンリーワン

ネオ・サミット茅ヶ崎 ケアレジデンス

フラダンス会開催。

もう一度描いてみようかな。

青森県 鶴の舞橋

鶴の舞橋は平成6年7月8日、岩木山の雄大な山影を湖面に美しく映す津軽富士見湖に、日本一長い三連太鼓橋「鶴の舞橋」として架けられました。全長300メートルもの三連太鼓橋はぬくもりを感じさせるような優しいアーチをしており、鶴と国際交流の里・鶴田町のシンボルとして、多くの人々に愛されています。

「こころつなぐ」

人と地域、そして心豊かな暮らしへの架け橋を築く

大和ハウスライフサポート。

そこには、ご入居者やそのご家族の

さまざまな夢や願いの実現をお手伝いしたいとの

想いが込められています。



0120-07-4165

受付時間：午前9時～午後5時



介護付有料老人ホーム
もみの樹・練馬
東京都練馬区



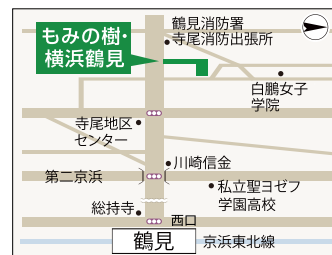
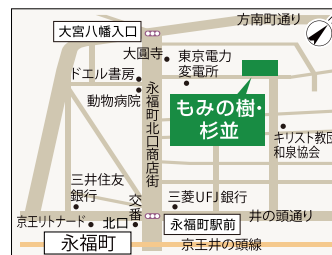
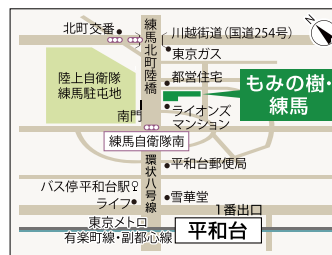
介護付有料老人ホーム
もみの樹・杉並
東京都杉並区



介護付有料老人ホーム
もみの樹・横浜鶴見
神奈川県横浜市鶴見区



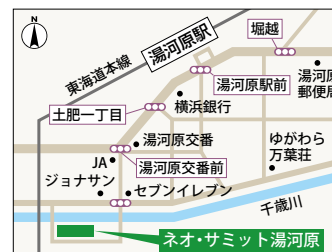
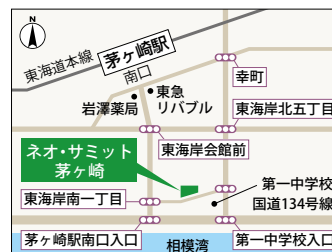
介護付有料老人ホーム
もみの樹・渋谷本町
東京都渋谷区



介護付有料老人ホーム・住宅型有料老人ホーム
ネオ・サミット茅ヶ崎
神奈川県茅ヶ崎市



介護付有料老人ホーム
ネオ・サミット湯河原
静岡県熱海市



Daiwa Life Support
大和ハウスグループ

大和ハウスライフサポート株式会社

東京都港区三田3丁目1番7号 三田東宝ビル6階 〒108-0073 Tel 03-3456-4165(代表) Fax 03-3456-4175

大和ハウスグループの経営のシンボルである「エンドレスハート」は、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
© Copyright 2021 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO.,LTD. All rights reserved.

🌱 We Build ECO | 森林育成紙TM使用

楽しく食べて健康長寿

Vol.3

腸内環境を整えて免疫力アップ！

冬は空気と共に、鼻や喉の粘膜も乾燥しやすいため、呼吸器系ウイルスに感染しやすいくなり、体温も下がり、免疫力も低下します。そこで冬場はこうしたウイルスに負けないよう免疫力をアップさせましょう。それには腸内環境を整えることが大切です。腸にはからだの免疫細胞の60〜70%が集中しています。腸内環境は食事で整えることができるので、善玉菌を含む発酵食品、善玉菌の餌になる食物繊維を積極的に摂りましょう。

発酵食品には、乳酸菌で発酵するぬか漬、キムチ、味噌、ヨーグルト、チーズなどの他、納豆菌で発酵する納豆など様々なものがあります。キムチに含まれる乳酸菌や納豆菌などの細菌は、ヨーグルトやチーズを発酵させる乳酸菌よりも胃酸に強く、生きたまま腸に届きやすいです。

大切です。寒い冬こそ規則正しい生活で自分自身を労わることが免疫力をアップすることにつながります。

「冬型栄養失調」に注意しましょう。

冬は寒さに耐えられるよう、基礎代謝が増加するため、本来より多くのエネルギーと栄養が必要になります。しかし、運動不足から体温が低いまま、血流が悪くなりがちです。結果、栄養不足や体調不良を起こしやすくなります。

- ① まぶたがピクピク動く
 - ② 口内炎がよくできる
 - ③ 髪が抜ける
 - ④ 肌が乾燥する
 - ⑤ 傷が治りにくい
 - ⑥ 外出すると動悸がして疲れやすい
- などの症状は「冬型栄養失調」かもしれません。

冬型栄養失調にならないよう、ビタミンB群、ビタミンC（エネルギー代謝に関与）、マグネシウム（筋肉収縮、血圧調整に関与）、鉄分（血色素の材料の一つ。血色素は全身に酸素を運搬しからだの代謝を活性化、冷えを解消）の摂取をお勧めします（下表）。マグネシウム不足では冬に多い

また、キムチの辛みの元であるカプサイシンが腸の蠕動運動を促進し、腸内環境を整える作用があります。さらに、納豆・キムチでは納豆菌がキムチの乳酸菌を増やすという効果が期待でき、辛さもやわらげ食べやすくなります。



腸内の善玉菌の餌となる食物繊維には、不溶性食物繊維（ごぼう、さつまいも、大豆、しいたけなど）と水溶性食物繊維（海藻、コンニャク、野菜、果物、なめこ、えのきたけなど）がありますが、後者の水溶性食物繊維のほうがより有効と考えられています。

オリゴ糖も大腸まで到達してビフィズス菌を増やします。オリゴ糖を含む食品

「こむら返り」や「心疾患」のリスクが高まります。まぶたがピクピク動くことにも関係があるとの報告もありますが、確定的なものではありません。マグネシウムはエネルギー生産や栄養素の合成・分解の過程、さらに神経伝達や血管拡張にも関わっており、積極的に摂りたい栄養素です。過剰分は尿中に排出されますので、通常の食事で過剰摂取の心配はありません。一言葉「そばのひ孫と孫（は）優しい子かい？ 納得！」（左下図）を参考にして摂り入れていきましょう。

冬の食卓と言えば、鍋です。鍋に欠かせない白菜にはビタミンC、カリウム、食物繊維、葉酸が多く含まれています。

ビタミンB群 (葉酸も含む)	肉類、魚介類に多く含まれる。 豆類(きなこ含む)、 ほうれん草、小松菜、 春菊 等
ビタミンC	パセリ、ブロッコリー、 パプリカ、みかん、 キウイ、いちご 等
マグネシウム	下図参照
鉄 分	レバー、しじみ、赤身肉、 卵黄、大豆製品、ココア、 小松菜 等

冬型栄養失調を予防する栄養素

には、豆類、玉ねぎ、ブロッコリー、カリフラワー、バナナ、ハチミツなどがあります。



このように、日常的に摂っている食品で腸内環境を整えることが可能です。ただし一時的ではなく、習慣的に継続して摂ることが大切です。

更に免疫力をアップする習慣として、抗酸化作用のあるビタミンA、C、Eをとり、免疫細胞の働きを高めるたんぱく質をしつかりと摂りましょう。そして、適度な運動をすること、ポジティブ思考であること、体を温かく保つこと、水分摂取やうがい、マスクの着用、加湿器や濡れタオルを利用して室内の乾燥を防ぐことも

そして白菜と一緒に入れることの多い春菊は、ビタミンA、ビタミンC、カルシウム、鉄分、葉酸が豊富です。春菊独特の香り「ペリラルデヒド」にはからだの免疫力を高め、咳を鎮める効果もあります。白菜と春菊は冬型栄養失調の予防に欠かせない野菜といえます。鍋は他にも手軽に多くの栄養を摂ることができ、何よりも身体を温めてくれます。具材を変えて鍋を楽しむことが冬の健康維持の秘訣です。

様々な食品に目を向けて旬の食材を美味しく楽しく食べることが大切であり、健康長寿につながるのです。



マグネシウムを多く含む食品
そばのひ孫と孫(は)やさしい子かい？ 納得！

元東京都健康長寿医療センター研究所副所長
女子栄養大学大学院・
同大学栄養学部 地域保健・老年学研究室教授
著書「元気ごはん」
栄養素密度が高い食事のすすめ（共著）
2019年3月など

新開省二



かかりつけ医から皆さんへ

もみの樹・杉並

集クリニック 院長
中村 集

今回はご入居者の訪問診療だけでなく、もみの樹・杉並の産業医でもお世話になっている中村先生をご紹介します。
近年、お父様にご入居いただき、ご家族としてもお付き合いさせていただいています。

患者さんとご家族との

信頼関係が得られてこそ「かかりつけ医」

大学病院から派遣された山梨県の病院で回復期リハビリテーションや訪問診療に15年間携わり、2007年に地元である杉並区に戻り、在宅医療のニーズに応えるため、訪問診療を主とする「集クリニック」を開院しました。

在宅療養支援診療所として24時間365日応診が可能な体制をとるため、他の6つの医療機関と連携を組んでいます。極力自分で緊急往診などは対応するようにしています。協力医療機関に代診を頼まず、自ら往診することが信頼関係につながると思っています。もちろん訪問看護ステーションやいつでも入院できる病院とも連携していますので安心してご自宅での療養が行えるようにサポートしております。

また「もみの樹・杉並」に入居されているご利用

者の診療も同じ理念で開院以来携わっており、ホームでは自宅よりは自由度が少なくはなりませんが、それ以上のサービスが受けられます。私事とはなりますが、あれほど入居を渋っていた「自由人」の父も、入所後は「ここは天国だ。食べ物も美味しいし、みんなやさしい」と人が変わったかのように『もみの樹』ライフを満喫しております。今97才ですが100才を超えてもお世話になります。



お父様と



なかむら しゅう
中村 集 集クリニック 院長

趣味はマラソンや少林寺拳法。
東京マラソンのランクターなどの活躍もされています。



出身大学	東邦大学
専門医など	日本消化器病学会専門医 / 日本抗加齢医学会専門医 日本外科学会認定医 / 日本消化器外科学会認定医 / かくれ脱水委員会メンバー 日本医師会認定健康スポーツ医 / 日本スポーツ協会認定スポーツドクター
経歴	東邦大学医療センター大橋病院外科 / 東邦大学医療センター佐倉病院外科 一宮温泉病院外科部長 / 集クリニック開院

6館合同旅行プロジェクト

～錦秋の京都・紅葉鑑賞オンラインツアー～

毎年、春と秋に1泊2日の旅行を企画・開催してきましたが、新型コロナウイルスの感染予防のため、2019年11月を最後に実施することができませんでした。

この間もプロジェクトメンバーはオンライン等でどうすれば旅行ができるか協議してきました。そして、まだまだ新型コロナウイルスの終息がみえない状況下で初めてオンラインでの旅行を行うことにしました。

オンラインにした経緯

最初は日帰りで外出できないかと検討しました。しかし、そういった話し合いをしている最中にも感染者数は増加の一途を辿り、話し合う中でオンライン旅行の存在を知り、「こういった取り組みは逆に今じゃなきゃ出来ないのでは」「今までの旅行では行けなかった遠方にも行けるのでは」と、オンラインでの開催を決めました。オンラインだからこそ行ける観光地のアンケートをご入居者に取り、その中で希望の多かった紅葉の時期と重なる京都に決定しました。



旅行ポスター

旅行当日

当日はオンラインで司会と現地ガイドが案内をしてくれました。午前中は嵐山から渡月橋、午後は二尊院に参拝し、見頃になってきた紅葉を鑑賞しました。1時間ずつの2部制でしたが、チャットで「うとうとします」など、各館の様子を現地に伝えると、途中にクイズや体操タイムを織り交ぜたり、ご入居者のお名前を呼びかけたり、飽きることなく楽しんでいただけたようです。

もみの樹・杉並の様子



旅行クイズ



旅行風景



もみの樹・杉並 スタッフ

スタッフコメント

初めての試みでしたが、オンライン旅行がスタートすると皆様飽きる事なく、集中してご覧になっていました。お食事は予想に反して、全量召し上がったご入居者もいて最終的にはスタッフも一緒に満喫させていただきました。

平井 美貴(1階ケアスタッフ)



てんぷらとステーキ



お昼ごはん

6館合同 全社で 行っている取り組み

外部講師による接遇マナー指導

今年度は6S（整理・整頓・清掃・清潔・美・接遇）の向上を目指し、半年弱、外部講師に原則月2回各館へ訪問してもらい、『挨拶や言葉遣い、ご入居者への声掛けや対応、所作、身だしなみ等』の現場観察・指導をしていただきました。

今回は前回に引続き「もみの樹・練馬」と「もみの樹・横浜鶴見」の評価とそれによる各館の意識や行動の変化、改善へ取り組みを紹介させていただきます。

もみの樹・練馬 講師評価抜粋

【Aさん】きれいに話そう、敬語で伝えようという気持ちで接していてとても安心しました。特に感心したのが、Aさんは「何のために」「何をします」「そうすると何ができます」ということを明確にし、かつ温かい言い方でお伝えできていたことです。これからは是非心掛けてください。(B-7)※

【Bさん】きれいな優しい笑顔でのご挨拶ありがとうございます。立っている私に対して「大変失礼ですが、どちら様でしょうか？」と控えめに申し訳なさそうにお尋ね下さいましたね。接遇レベルが高いホームは、必ず看護スタッフ笑顔で親切です。もみの樹・練馬のこれからがとても楽しみにになりました。これからも温かい対応を続けてください。(B-7)※

指導を受けて

渡辺直子
(ケアスタッフ)

【目標①に対して】訪問に来て下さった方に「ようこそ来て下さいました。ありがとうございます。」という気持ちで伝わるような挨拶を心掛けていきたいと思っています。

【目標②に対して】人生の大先輩であるご入居者から教えていただくことは沢山あります。感謝と敬意を忘れず、丁寧な対応を心がけていきたいと思っています。

吉本梨沙(副主任)

【目標①に対して】先生より、「気持ち達めて挨拶をすること」をご指導いただき「相手から」は「相手が気持ちよく感じてもらえる挨拶」をより意識をして実践するようにしました。

【目標②に対して】スタッフの接遇が向上すること、お客様が安心して過ごせる環境作りができるようになりました。

もみの樹・練馬



もみの樹・横浜鶴見



指導を受けて

渡辺佳央里
(ケアスタッフ)

今まで、自分自身の接遇を評価していただく機会がなかったのですが、とても勉強になりました。今回の評価およびご指導を活かし、ご入居者に笑顔になっていただけるように努めたいと思います。

志賀雄太
(事務所スタッフ)

接遇の大切さやサービス業である事を意識しての「おもてなし」の心が大切な事は分かっていたのですが、接遇現場のことと違って、現場から「接客」である事を学び、選ばれるホームになるために、実践してまいります。

目 標	
① 来客・訪問者に対する挨拶（立ち止まって／立ち上がった際の挨拶と一礼）ができる。	
② ご入居者に対し、敬意を持った言動・態度、行動・動作ができる。	
③ 命令・脅し・叱責に捉えられるような言動はなく誰にでも思いやりのある態度が取れる。	
④ 自己統制力（アンガーマネジメント・自己感情分析）ができる。	
⑤ 丁寧で落ち着いた動作、ふさわしい環境の整理・整頓を心掛けることができる。	

※講師評価のアルファベットと数字の説明	
ランク	9が最も高い評価
レベル	表記例・B-5は基本的な言葉や所作が半分くらいできている状態

もみの樹・横浜鶴見 講師評価抜粋

【Cさん】丁寧なごあいさつを有難うございます。また、一階のエントランスで帰り際にお会いした時も、明るい笑顔とユーモアいっぱいステキな対応でした。その場その場に合わせた（ふさわしい）対応を臨機応変に出来る方だと思ふので、ご入居者はもちろん、同じ業務を行う仲間にも「尊敬を忘れず、丁寧に、温かく」みんなで作るよう、Cさんが率先して「正しいこと、良いこと、直すべきところ」を示して差し上げて下さい。(B-8)※

【Dさん】とても和やかに温かみのある対応ができていました。お薬の服用時、丁寧に「確認お願いします」と声を掛けておられましたし、お薬をお口に運ぶときも「失礼します」と正しい接遇ができています。食器を片付けるときも、音を立てないように細やかに気を配っていました。何よりも穏やかな笑顔での対応は素晴らしいと思います。(B-6)※



もみの樹・渋谷本町「リハビリスタッフ座談会」

リハビリ専門スタッフを配置し 「元気な生活」を徹底してサポート。

もみの樹・渋谷本町の大きな特色は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士（非常勤）といった機能訓練専門スタッフを擁していることです。いずれも国家資格で、ご入居者が日常生活を送るうえで必要な身体能力の維持・向上をサポートしています。

理学療法士、作業療法士、 言語聴覚士の3名体制

皆さんのそれぞれの

お仕事内容を教えて下さい。

【藤澤】 理学療法士は「立つ・歩く・寝返りを打つ」といった基本動作を訓練します。作業療法士は「食事をする、身だしなみを整える」といった応用動作の訓練をしています。

【北見】 言語聴覚士はコミュニケーションに関係する能力の維持・向上に関わっているほか、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応



さまざまな設備、 機能訓練プログラムを用意 機能訓練室について教えて下さい。

しています。食べることは生活の基本で、大きな楽しみでもありますから、口から食べる為のサポートには力を入れています。

【藤澤】 場所は1階の機能訓練室（トレーニングルーム）、各フロア、ご入居者のお部屋などで行っており、お一人おひとりの状況に応じて、集団あるいは個人で行うもの等、いろいろなメニューを設定しています。

多職種連携にも力をいれていると 伺いました。

【藤澤】 リハビリには他のスタッフの協力が不可欠です。反対に私たちも、できるだけ他の職種を応援するようにしています。たとえば昼食時の食事介助等には、私たちリハビリスタッフも積極的に協力しています。

【岡本】 生活レベルにおける業務にケアスタッフだけでなく、複数の職種が関わることで客観的な視点で、ご入居者の状態変化などを早期に把握・確認することができ

【北見】 各館の機能訓練指導員が月に1度集まり、情報共有や課題解決を行っています。その場で「機能訓練指導員がチームとして目指す姿」を議論し、「3つの柱」にまとめました。1つ目は「生活リハビリの確立」、2つ目は「科学的介護に繋がる、エビデンスを持った機能訓練の実施。IT・ICT・IoTの活用と連携」、3つ目は「機能訓練・リハビリのプロから、人のプロへ」です。私たちは専門的な知識・スキルを活かし、ご入居者の生活の質、ケアの質の向上に努めていきたいと考えています。



機能訓練室



言語聴覚士

北見 彰男



ご入居者ごとの個別の目的や目標を共有して、主体的なりハビリへ導きたいと考えています。「ただ食べられればいい」で満足するのではなく、「食べた物を食べる、次はあれを食べたい」と思えるリハビリが提供出来るよう取り組んでいきます。

理学療法士

藤澤 遙



歩行訓練の場合は他のご入居者やスタッフにアピルすることもあります。応援されることで「頑張らなきゃ」と、訓練にプラスになります。100回立ち上がり訓練に挑戦した後、「立ち上がりやすくなった」と声をかけていただけると、心からうれしいです。

作業療法士

岡本 理奈



理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が揃っている施設は珍しいと思います。その利点を活かして、身体能力の維持を図るため、さまざまな「機能訓練プログラム」を用意しました。身体機能の維持向上のため訓練を安全かつスムーズに実施するよう努めています。



もみの樹・渋谷本町 Hon街cafeオープン！



おいしいお茶とカフェの素敵な雰囲気でお話もはします



カフェ入り口

スタッフ紹介



中尾 田鶴子さん

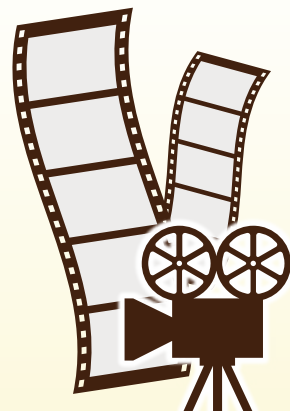
8月よりカフェを担当させていただきます。現在カフェでは、歌が好きなご入居者が集まり、コーヒーやお茶をお飲みになりながら合奏を楽しんでいます。歌声を聞いて居室より出てこられる方もいらっしゃいます。

これからもご入居者に楽しんでいただけるカフェを目指して頑張ります。

夜の時間も楽しんでいただけるよう【Hon街bar】を近日、オープン予定しています。

夕食後にお酒やノンアルコールカクテルをご提供する予定です。ノンアルコールカクテルには5階の屋上庭園で栽培しているミントやレモンバームなどのハーブを使います。

また【Hon街theater】も準備中。認知症ケアに使われている『回想法』として、昭和30年代〜40年代にかけてのニュース映像や映画、昭和の生活を再現した映像等150本を上映予定です。



提供する、お酒・ノンアルコールカクテルのイメージ

今後の展開

フなどのレクリエーションを楽しまれ、新たなコミュニティが形成されています。

ご入居者からは、「あそこに行けば楽しい事ができるわ」といったお声をいただいております。

お茶やコーヒーをお飲みになりながら、他の階のご入居者や、気の合う方同士が集まって、歌会やパターゴルフなどのレクリエーションを楽しまれ、新たなコミュニティが形成されています。

日中は専属のスタッフを配置して10時から16時までオープン。

5種類のコーヒーと2種類の紅茶、2種類の日本茶からお好きなものを選んでいただき、ご提供いたします。



花壇



コーヒー

カフェで提供している飲食・サービスの内容

カフェを作ろうとしたきっかけ

長期間、コロナ禍でご家族との生活スペースでの面会を制限させていただいています。そこで、ご入居者の「隙間時間」を楽しみ時間としてお過ごしいただければとの思いから、活用されていなかった4階共有部のラウンジスペースを、カフェに模様替え致しました。

もみの樹・渋谷本町では『養生』を送っていただくため、お一人おひとりの生活を大切にしています。

※『養生』は輝かしく、誉れ高い、名誉ある生、という意味の造語です。

森村誠一著『煌めく養生』より引用し、書家の中澤希水により書き認めていただきました。



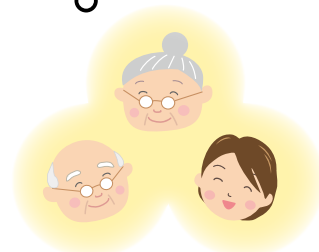
「養生」の書を飾っています

感動

プロジェクト

認知症ケア

統一したチームケアを通して笑顔を取り戻す。



ネオ・サミット湯河原 A様(80代)要介護3

今回は、チームで一つの目標に向かって統一したケアを行い、無気力・無関心状態から笑顔を取り戻したという事例をご紹介します。

A様は2015年、アルツハイマー型認知症を発症、その後ご主人が一人で介護をしていましたが、2018年10月から別荘代わりになっていた自立棟へご入居されました。2019年10月、一時帰宅の際、東京のご自宅でご主人と2人で倒れているところを次男ご夫婦が発見。ご主人は化膿性脊髄炎により緊急入院。

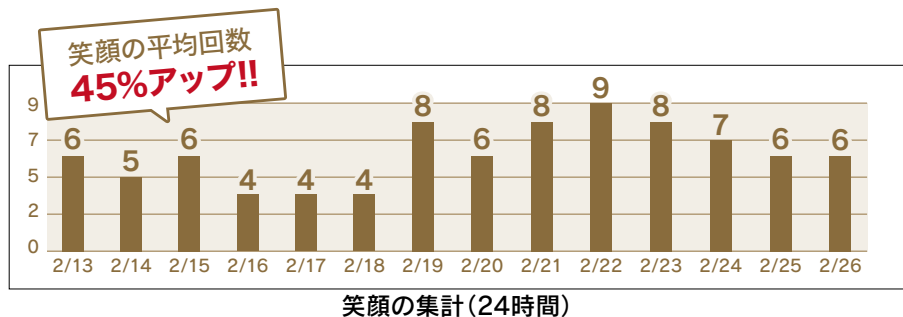
A様は、次男ご夫婦の元へ身を寄せることになりましたが、今後のA様の生活や持病を持つていらっしゃるご主人の事、介護に多く時間をかけられない次男ご夫婦の事を考え、ケア棟へ入室することになりました。

仮説・検証・取り組み

目標を設定し、統一したケアを行う。

A様は無気力・無表情、発語がなく、言葉の理解や意思疎通が難しい状態でした。

基本ケア	現 状	目 標	結 果
食 事	全介助	5～8割を目指す。スプーンを持ち一口でも食べる。	摂取量は主食・副食共に2割増えた。また、45食中13食にご自身で食事する様子が見れた。
整 容	全介助	鏡を見ながらブラシをする。	補助のみでできるようになった。
口腔ケア	全介助	歯ブラシを持ち、歯磨き動作をする。	補助のみでできるようになった。
排 泄	協力動作なし	トイレで排泄する。	補助のみでできるようになった。
入 浴	全介助	手の届く範囲は洗身する。	タオルを渡すと洗身ができるようになった。また、洗髪や洗顔を促すと、行う様子もみられた。
更 衣	協力動作なし	協力動作をする。	一つひとつの動作時に声かけをすると、協力動作をしていただけるようになった。
移 乗	全介助	支えた状態で5秒間立位が保てる。	二人介助で実施し、5秒間立位を保つことができるようになった。
散歩・レク	無関心状態	興味を持つ。気分転換を図る。	集中して参加できるようになった。



アセスメントを実施

実践結果を24時間シートへ記入



スプーンを持って食事



口腔ケア

仮 説

規則正しい生活を促し、日常生活動作(ADL)の出来ることを増やすことにより、症状が改善されるのではないかと考えました。しかし、A様は言葉の理解や意思疎通が難しい状況にあるため、全スタッフで統一した声かけやケアが重要ではないかという仮説を立て、検証を行いました。

取り組みと結果

【A様のアセスメントを実施】

A様との関わりにおける成功・失敗事例を全スタッフから収集し情報共有を図りました。「正面からアプローチすると気が逸れない」「ストローで吸うのは難しいが、コップだと、ご自身で飲むことができる」等の結果がわかりました。これを基にA様個別のケアマニュアルを作成し、日常生活動作自立度の目標を設定しました。

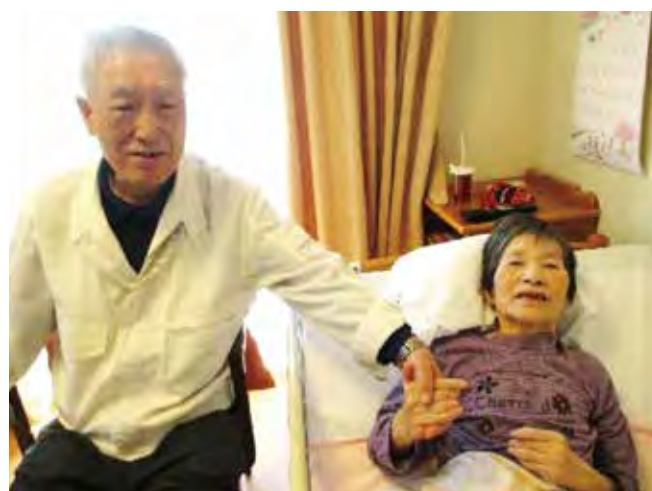
【統一した声掛けを行う】

食事の際に「味見をしていただけませんか」その後「美味しいですか」と統一の声掛けをしてA様の嗜好の調査・把握を行いました。

A様は現在、以前の無表情から笑顔が1日平均5・8回45%も増えました。

考 察

統一したチームケアや声掛けを行うことによって、失われた感情や記憶を取り戻すことができるということを実感しました。また、チーム内のコミュニケーションがスムーズになり、どんな場面でも自然と協力体制が生まれるような雰囲気になりました。今後チームケアの強化と向上を目指し、取り組んでいきます。



スタッフボイス



別荘代わりとして利用されていましたが、体調を崩し退院後からケア棟利用となり、ご本人の状態はスタッフも不安を感じたスタートでした。試行錯誤を繰り返し、ケアの方法を統一。その結果、ご本人から笑顔や自発的な動作が見られるようになりました。残存機能を活かし、統一したチームケアを具体的に実践するきっかけにもなったと思っています。

主任 物江 弘美

感動プロジェクト

オンリーワン

ネオ・サミット茅ヶ崎 ケアレジデンス

フラダンス会開催。

T様 80歳代後半

T様は穏やかで控えめな性格ですが30年間フラダンスを習っており、六本木の老舗ハワイアン&ジャズクラブでも踊られたご経験をお持ちでした。

ケアレジデンスでは「ウクレレフラ」というレクリエーションを毎月開催しており、一緒に踊るようご提案したところ、「自信はないけど昔のように踊ってみたいわね」と前向きなお言葉をいただきました。

実施までの取り組み

ご家族へコンタクトパーソン（お客様担当）より、9月26日にフロアへご入居者に向けて披露することを提案しました。また、ご本人が踊っていた当時のフラダンスDVDを持ってきていただくよう依頼。選曲はご本人が一番記憶している「ケ・アロハ」となりました。

日中傾眠されることが多いため、午前中に横になる時間を確保し、2か月間練習を続けました。

もう一度描いてみようかな。

N様 80歳代後半

T様は体調不良による入院を機に、ケアレジデンスへ転居されてきました。入院中は食欲がなく、点滴で水分確保している状態で、転居当初も食事には手をつけず、持ち込まれたそうめん等、本人の食べたい食品を少しずつ摂取している状況でした。

住宅棟にいた頃は「サミット美術館」で絵画の展示をしていたそうで、日常生活の改善に続けばという思いから絵を描くことをご提案したところ、「昔は描いていたけど今はどうかな…描ける場所と物があればやってみたいね」と意欲的なお言葉をいただきました。

ご家族にお話すると「油絵の強いにおいと汚れが気になる…」とのことでしたので、水彩画に変更して、物品購入を依頼しました。

実施内容

週に2回（一回あたり一時間程）午前中に声掛けをして、ダイニングにて制作活動を実施。スタッフが遠目から見てもわかる程集中して作業しており、声掛けをしない日も自室で道具を探されながら「やらなきゃいけない仕事がある」と意欲的に取り組む姿勢が見受けられました。

完成後の作品を見て、T様は「あんまりうまく描けないね」と控えめな評価でしたが、次回作を依頼すると、照れたご様子で了承いただきました。絵画の制作意欲から、食事量や活動量が増加し、日常生活動作の介助量の減少にもつながりました。



作業風景



完成品



油絵(過去作品)

スタッフボイス

当初、居室での制作を希望されましたが、他者とのコミュニケーションも取ってもらいたくダイニングで取り組んでいただきました。しかし、居室でも制作活動ができる環境づくりを考えていく必要があると感じました。今後は作業療法士だけでなく、スタッフでもセッティング等の対応ができるよう検討したいと思います。

ネオ・サミット茅ヶ崎 松本 摩耶



～ Webアンケートご協力のお願い ～

「こころつなぐ」をお読みいただきありがとうございました。今後のサービス向上のため、Webアンケートを実施しております。下記のURLまたは二次元コードからアクセスして、ご協力ください。アンケートにお答えいただいた方にはノベルティグッズ（アロマアルコール 5ml 3本セット）をプレゼントいたします。

お客様の個人情報およびご意見は、弊社の個人情報保護方針に従って取扱い、サービスの向上とイベント等のご案内メールをさせていただくためだけに使用いたします。今後ともご支援・ご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

【アンケート受付期限：2022年3月31日(木)】
<https://www.dhls.jp/survey/>



事前練習の様子



発表会の様子



発表者全員で記念撮影

スタッフボイス

スタッフからこれまでの経緯や感謝の言葉を伝えると「良かったわ」と笑顔で答えられました。8月に転倒され、活気や食事量も低下し、企画の延期も検討しましたが、車いすになられてもスタッフが変わらぬケアを行うことで、転倒前の状態に戻れたことは大きな収穫であり、日々のケアの重要性を学ぶ機会となりました。

ネオ・サミット茅ヶ崎 眞野 玲子



感動プロジェクト「オンリーワン」とは

いくつになっても自分らしく生きることを大切にしたい、という願いから企画されました。ご入居者が人生でやり残したことや、諦めてしまっていることのお手伝いをさせていただき、その人らしさを取り戻す機会を提供しています。ご入居者が夢を実現した達成感、達成に至るまでの目標を持った充実した生活を送っていただけるプロジェクトです。

発表会当日

当日はスタッフが用意したレイやフラダンス衣装をお渡しすると、「あら、衣装まで着るの？」と驚きながらも喜ばれたご様子でした。ご入居者20名の前で緊張や戸惑いも見せず、最後までしっかり踊りきりました。終了後は、喝采と「とても素敵だった」「すごく良かったわよ」というお褒めの声をいただき、ご本人も笑顔で頷かれ、達成感に満ちた表情をされていました。企画を通して、フラダンスに興味を持たれたご入居者もあらわれ、今後は複数名で発表会を開催する事を目標に取り組んでいきたいと思っています。